



可能性試験調査研究成果展、成果発表会を開催しました

平成 25 年 4 月 18 日～20 日の 3 日間、福井県工業技術センターにおいて、「未来を創造する ふくいの新技術～ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業 可能性試験調査研究成果展～」を開催しました。

この成果展は、エネ研と(公財)ふくい産業支援センターが支援する「可能性試験調査研究」の成果等を、科学技術週間に行われる福井県工業技術センターの一般公開に併せて公開展示するもので、県内外の企業のほか、工業系高校の生徒や一般の方を対象に、福井県内で新たな技術開発に取り組む企業の技術や製品を広くPRしました。



可能性試験調査研究成果展の様子

また、平成 25 年 4 月 19 日には、ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業における産学官連携事例の広報を目的として、「平成 24 年度可能性試験調査研究事業に係る成果発表会」を開催しました。県内参加企業等の研究担当者から研究開発の現状についてプレゼンテーションしていただき、活発な質疑応答が行われました。



成果発表会でのプレゼンテーション

成果発表会プログラム

テーマ	県内参加企業 [所在地]
EV用非接触充電システムにおける軽量・高効率化の開発に向けた調査と試験	(株)KANZACC [坂井市]
チタン加工技術を用いた医療機器分野への参入可能性調査および試験調査	(株)西村金属 [鯖江市]
レーザーによる無遮断血管バイパス手術用チタン製吻合補助クリップ接合技術と試作品による適応可能性の調査	ヨシダ工業(株) [鯖江市]
ラッキョウ・フルクタンを利用した、細胞/組織凍結液の構築	(株)エル・ローズ [福井市]
福井梅を利用した安心・安全ご当地コスメに関する調査	日華化学(株) [福井市]
魚腸可溶化物による海洋生物増殖資材の開発と実証試験	サカイオーベックス(株) [福井市]
圧カスウイング吸着法を用いた二酸化炭素の回収と植物栽培への有効利用の方法の検討	(株)ナカテック [坂井市]
デモレンズ大量照射技術の開発	若吉光学工業(株) [鯖江市]
電子線照射を活用した超耐熱・超耐久性の漆塗り食器の開発	(株)漆琳堂 [鯖江市]
アラミド繊維強化ゴム資材の電子線照射による改質	(株)KOSUGE [坂井市]
電子線照射による高機能繊維補強シートの開発	(株)SHINDO [あわら市]
シリコン系難燃剤を使った耐久性に優れた防火服の開発	(株)ミツヤ [福井市]
消臭和紙の研究調査	石川製紙(株) [越前市]
モバイル端末のセンサ機器を用いた距離計測技術に関する研究調査	江守商事(株) [福井市]
光ファイバセンサ実装における可能性試験調査研究	(株)熊谷組 [福井市]
マイクロ波検出技術を用いた低圧ケーブルの経年劣化測定技術の実用化研究	(株)TAS [敦賀市]

エネルギー研究開発拠点化計画の進捗状況①

おおい町で「太陽光発電所」の建設を開始しました

関西電力株式会社は、平成 25 年 3 月 21 日、おおい町犬見にて「若狭おおい太陽光発電所」の起工式を行いました。

若狭地域における大規模太陽光発電設備は、県のエネルギー研究開発拠点化計画の『充実強化分野』である「エネルギーの多元化への対応」の施策として位置づけられており、おおい町、高浜町に合計 1,000kW の太陽光発電所を建設することとしています。

発電出力 500kW の「若狭おおい太陽光発電所」には、太陽光パネル（1m×1.6m）が 1,918 枚設置される計画で、一般家庭 150 軒分に相当する約 50 万 kWh の年間発電電力量が見込まれています。竣工は平成 25 年 11 月の予定で、発電された電気は町内の家庭や事業所に届けられます。



若狭おおい太陽光発電所 完成イメージ図

起工式に出席した時岡忍町長は「将来のエネルギーの安定供給に向けた大きな布石となり、町が目指す低炭素社会の実現に大きく寄与する」と太陽光発電所の完成に期待を寄せました。

なお、高浜町でも同規模の太陽光発電所が建設予定であり、平成 25 年度中の着工を目指して準備が進められています。



起工式の様子

エネルギー研究開発拠点化計画の進捗状況②

高浜町に「オールシーズンエコ園芸ハウス」が完成しました

高浜町の第三セクター「(株)いきいきタウン高浜」は、同町下車持（しもくらもち）に「オールシーズンエコ園芸ハウス」を建設し、平成 25 年 4 月 12 日に完成式典を行いました。

エネルギー研究開発拠点化計画では嶺南地域にオールシーズン園芸施設の整備をする「エコ園芸振興拠点化プロジェクト」を進めており、今回は、(株)いきいきタウン高浜が事業主体となり施設を整備しました。

式典に出席した野瀬豊町長は「農業に従事する後継者の育成、地域産業の活性化など、まちづくりの一端を担うことになる」と施設の完成を祝いました。

完成した約 5,000 m²のハウスでは、ヒートポンプ空調機と重油焚き温風機を組み合わせた空調システムで室内温度を制御し、県特産のミディトマト「越のルビー」を通年で栽培します。

経営するのは公募で選ばれた町内の新規就農者で、平成 25 年 8 月に苗を植えて栽培を始め、10 月ごろからミディトマトの出荷が開始される予定です。



オールシーズンエコ園芸ハウス



県特産ミディトマト「越のルビー」

